

NO. 785
令和7年(2025)
8/25(月)



小笠原 —OGASAWARA—
村民だより

編集・発行 小笠原村総務課
〒100-2101
東京都小笠原村父島字西町
TEL 04998 (2) 3111
FAX 04998 (2) 3222

ホームページアドレス

<https://www.vill.ogasawara.tokyo.jp/>

防災特集号

9月1日(月)は防災訓練



小笠原村では、9月1日(月)に、南海トラフ巨大地震による津波を想定して防災訓練を実施します。訓練に参加して、避難場所や避難経路、避難にかかる時間などを再確認しましょう。

※ 訓練開始時間は事前にお知らせいたしません。

なお、去る7月30日に発生したカムチャツカ半島沖地震による津波襲来の際は、多くの皆様に速やかに避難をしていただきました。また、避難所の運営をはじめとして、多くの村民の方々にご協力、お力添えをいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。皆様から頂いた多くのご意見を生かし、今回の防災訓練では『初動の迅速化』と『避難される皆様への情報伝達提供の強化』を重点として実施します。

《訓練内容》

津波の発生を想定しての避難訓練・避難誘導訓練を中心に行います。

・訓練想定

南海トラフを震源とする地震により、大規模な津波が発生し、「約90分後に小笠原に津波の第一波が来襲する」という想定で実施します。

・訓練内容

- ① 津波襲来を想定した情報伝達訓練
- ② 「避難所」開設
- ③ 「避難指示」の発令
- ④ 津波の襲来に伴う避難所への避難および避難誘導訓練

・村民の皆さまへの情報伝達方法

「災害対策本部」から防災行政無線を通じて行います。

情報伝達の前には必ず「訓練」という言葉をいれますので、訓練であることを確認しておいてください。

また、「避難指示」の際は、サイレンを鳴らしますので、ご了承ください。なお、宿泊業の方は、当日訓練が行われる旨を宿泊客の方へ周知していただくようお願いいたします。

《あなたの避難所を確認して下さい》

津波来襲時の避難先は、以下の通りです。

【父島】 西町・東町・・・小笠原小中学校 新体育館

※7/19(土)から旧体育館から変更しています。

お間違えないようご注意ください。

清瀬地区・・・小笠原高等学校 体育館

【母島】 元地・静沢地区・・・母島診療所

奥村地区・・・奥村交流センター

東京電力PGのご協力により、電気自動車(EV車)を電源にして家電を動かす展示を行います。

扇浦地区・・・扇浦交流センター

《やむを得ない場合を除き、車での避難はお控えください》

渋滞が発生すると避難の妨げになり逃げ遅れの原因になってしまいます。
また、緊急車両の通行や備蓄品の運び入れの妨げになってしまいます。



近地地震津波にも注意！

小笠原諸島近海地震による津波の場合、津波到達時間が短いことからまずは近くの高台に避難する必要があります。揺れが収まったら火元を確認し、とにかく高台へ移動しましょう。

また、個人でご契約中の携帯電話キャリアの防災エリアメールも登録しておくようにしましょう。

《津波を知る》

- ・ 津波の伝播速度は速く、見てから逃げるのではありません。
- ・ 地形によって反射・屈折を経て繰り返し襲ってきます。
- ・ 津波高 50cm 程度の津波でも 立ってられず、流されます。
- ・ 津波は「引き」から始まるとは限りません。
- ・ 沿岸の地形の影響で、局所的に高くなります。
- ・ 潮位変化が始まってから最大波が観測されるまで数時間かかることもあります。

出典：気象庁 HP

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/index.html



《津波に対する心得》

- ・ 地震を感じなくても、注意報が出たら海岸から離れる。警報の時は、とにかく高台へ逃げる
- ・ 津波は繰り返し襲ってくるので、警報や注意報が解除されるまで気を緩めない
- ・ 正しい情報を防災行政無線、ラジオ、テレビ、スマートフォン、などを通じて入手する
- ・ 沿岸付近の船舶は沖合に逃げる

津波から身を守る最大のポイントは、**直ちに避難すること！**

「津波警報」が発表されてから実際にどれくらいの時間で避難できるか、ご自宅・お勤め先・出先から避難所までの避難に要した時間を記録しておきましょう。

東京都は、南海トラフの巨大地震による被害想定を発表し、各地点の最大津波高は、下図のとおりとしています。

	二見港	扇浦	小港	沖港
最大津波高	9.5m	9.4m	12.4m	12.1m
30cm 津波高到達時間	84.1分	84.9分	85.1分	85.4分
最大津波到達時間	88.0分	88.0分	86.8分	87.5分

《津波ハザードマップ、津波避難計画》

村では、小笠原村「津波浸水ハザードマップ基本図」及び「津波避難計画」を作成しています。地域やご家庭において、日ごろからの備えにお役立て下さい。

なお、これらの情報は、村役場窓口及び下記からご覧になれます。

小笠原村 HP <https://www.vill.ogasawara.tokyo.jp/soumu/bousai/>



※7/19 (土) から小中学校は新体育館に避難所を変更しています。お間違えないようご注意ください。

《避難のときには忘れずに！》

◎普段服用、使用しているお薬

◎歯ブラシ

◎女性用品

◎スマホの充電器



外出先から避難することも大いにあります。バックに常備しておくで安心！

《ペットの受け入れについて》

災害時、ペットについては同行避難が原則となります。避難所では広さに限りがありますので室内には入れません。飼い主の方は、平時からペット用のケージや食事、トイレのお世話グッズの準備をお願いします。

《津波警報発令時の水道について》

状況に応じて水道水確保のための予防措置として全島断水する場合があります

《災害時の備蓄について》

村では、アルファ米・飲料水・粉ミルク・子ども用おむつなどの災害時備蓄品を7日分備蓄しています。

津波による災害や首都直下地震が発生した場合、港湾の状況や内地被災状況により、内地からの物資がすぐに届かないことも考えられますので、**各ご家庭でも1週間分の非常食などの備蓄をお願いします。**

例えば、大人2人分（1週間）の備蓄品の目安は次のようになります。

- ・ 水 2L×6本×4箱（1日3L程度/人）
- ・ カセットコンロ：1台
- ・ ポンベ：10～12本（1日1本弱程度/人）
- ・ 主食：3食×7日×2人分（アルファ米など）
- ・ 主菜：3食×7日×2人分（レトルト食品など）

などを用意しましょう。家庭の状況に応じて乳幼児用ミルクやおむつなどもストックしてきましょう。

また、一定量の備蓄品を無理なく蓄えるために、「蓄える→食べる→補充する」、ローリングストック法があるので、ぜひ実践してみてください。

《海のレジャーについて》

地震による津波が発生した際、海上ではすぐに津波の情報を得られない可能性があります。

個人で所有している船・カヤックで、海のレジャーを行う場合は、事前にどこに行くか、などの情報をご家族や知人に知らせておくようにしましょう。